

2014年度第6回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日時：2015年2月17日（火） 午後6時30分から
- 2 場所：立川市柴崎学習館 和室（2階）（立川市柴崎町2-15-8）
- 3 議決権のある理事：8名、出席理事：5名
出席者：座間直壯、清田義昭、田中ヒロ、手嶋孝典、堀渡
欠席者：齊藤誠一、平山恵三、矢崎省三
事務局：蓑田明子
- 4 報告及び協議事項
 - (1) 第1号議案 会員の動向について【報告】
 - ・2015年2月1日現在
正会員101名3団体 賛助会員41名1団体 計146名・団体
 - ・会費未納者には督促を行なっている。今年度終了時に2年間会費未納による資格喪失処理対象となる可能性のある会員は、現時点で2名。
 - (2) 第2号議案 多摩デポブックレット第10号の発行について【報告】
 - ・『図書館連携の基盤整備に向けて— 図書館を支える制度の不備と「図書館連合」の提案 —』松岡要著、が発行できた。1000部印刷。1月7日納品。製作費は30万円。著者へ原稿料として30部郵送した。「多摩デポ通信33号」と共に現物を会員に送付した。
 - ・著名な松岡氏の初の単著なので、当面、販売促進に努めたい。
 - ・2月15日現在事務局在庫+1月末現在けやき出版在庫/印刷部数（けやき出版預け）

① 36+37/1000(450)	② 98+28/1000(320)	③ 178+32/1400(350)
④ 378+21/1200(300)	⑤ 183+33/1000(400)	⑥ 324+17/1000(400)
⑦ 460+165/1000(300)	⑧ 340+65/1000(300)	⑨ 492+18/1000(300)
⑩ 472+249/1000(300)		
 - (3) 第3号議案 第22回多摩デポ講座について【報告】
 - ・2月12日（木）午後6時30分～9時、立川市立柴崎学習館 地下 第1視聴覚室
テーマ：「多摩地域の図書館行政を支える図書館員に聞くシリーズ」第2回
「中村さん、湯澤さん大いに語る」
講師：中村照雄氏（八王子市図書館長）、湯澤瑞彦氏（小平市立図書館長）を行った。
 - ・参加者は計18名（一般参加者8名＝全員会員外か、事務局・理事8名、講師2名）
 - ・八王子市中央図書館は開館30周年を迎えた。都立図書館の除籍資料である「多摩地域資料」を一括して引き受け、中央図書館の閉架書庫に保存（協力貸出可、市内図書館での閲覧可）しているが利用は少ない。蔵書を捨てない努力をしているが、限界が迫っている。
小平市立図書館は、40周年を迎える。開館初期に採用された司書職員はいなくなっている。現在、仲町図書館・公民館の建替えに新機軸を盛り込んだ「なかもちテラス」を3月14日に開館する準備中である。
 - ・インターネットの時代に説得力ある図書館の強みを改めて考え打ち出していく必要性、施設再編への備え、次世代職員の育成、直営堅持の方策、共同保存、図書館長としての将来構想力などについて、両館長から率直な話を伺うことができた。
 - ・会員外の多様な一般参加者があり、現在ご自分が抱えている課題について様々な質問があった。

- ・八王子市が引き受けた都立の多摩地域資料がいつまで持ちこたえられるか、どうサポートするかが多摩地域全体の課題になるのではないか。
- ・館長協議会の会長と事務局長である両館長さんが講師を引き受けお話しして下さったことは大きなつながりになる。今後も積み重ねて行けるといい。

(4) 第4号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告】

- ・1/24 カーリル共同研究月例会 第5回を立川市柴崎学習館で行った。
ISBNのある資料については、NDLおよびNiiの所蔵データを元に、多摩地域の市町村立図書館所蔵資料の希少タイトルのデータベースをつくれる見通しが出てきた。この方法で3月までに、館長会に提示できるものを作る事をめざす。館長会PJから小池氏、斎木氏がゲスト参加。
- ・国立国会図書館『カレントアウェアネス』にカーリルとの共同研究について記事依頼あり。
No. 281 掲載予定 5/7 (木) 〆切、5/21 (木) 刊行 1,500字程度
内容:「共同研究の狙い・目的」「共同研究の手法や具体的な内容」「共同研究であきらかになったこと、成果があれば、どのような課題が解決され、どのようなメリットがあったのか」「(今回の共同研究を踏まえて)今後の共同研究の展開や連携の見通し」などについて紹介してほしい、とのこと。
- ・総会記念行事の企画
これまでの記念講演会ではなく、カーリルとの共同研究に関して、カーリルの吉本氏をプレゼンター等々の形で招き、(株)カーリルがこれまで考え行なったことを紹介してもらい、多摩デポの共同研究について報告・説明を行い、参加者からも質疑を受ける形を考えたい。

(5) 第5号議案 多摩デポ通信第34号の発行について【報告・協議】

- ・総会開催を告知・広報する号となる。4月20日頃に遅滞なく発行し、総会案内、議案書、出欠・委任状、総会後の行事のチラシ、新年度会費振込用紙などを同封して送る必要がある。
- ・紙面内容としては、総会案内、カーリルとの共同研究の進行状況、ブックレット第10号の書評、第22回多摩デポ講座の報告・感想、多摩地域図書館大会の感想など。
- ・これまでのクロネコメール便の3月末での廃止、変更に伴い発送方法を見直さざるを得ない。会費振込納付者への領収書の送付はしないこととしたい。
→ 了承。来年度の会費請求の際、その旨周知し、特に必要な方のみ申し出てもらう形とする。

(6) 第6号議案 次期総会の議案および総会記念行事について【報告・協議】

- ・別紙、総会議案書(案)参照
協議の結果、大筋は了承。来年度の多摩デポブックレットの刊行については、年度内に1冊は刊行を予定するよう考える。文言の修正および構成上の重複など事務局で整理し、4月理事会で最終確認する。
- ・総会日時および総会記念行事について
5月17日(日)午後2時～ 国分寺労政会館 第1会議室(地下)
総会記念行事としてカーリルの吉本氏をゲストに報告会のような形で開催する、このイベントの名称については、さらに事務局で検討する。
- ・理事、監事、顧問の人選について
現役員・顧問は継続の方向で確認する。

(7) 情報交換

- ・経産省オープンデータ・ビジネス・コンペティションの応募結果について
カーリルからの情報提供により、“オープンデータを活用しての新たな事業”というコンセプトに合う、との判断で2/9応募、2/16第一次審査を通過した。今後の予定は、2/24の第二次審査を経て3/3表彰式。第一次審査を通ったので表彰式でのプレゼン資料、パネルなど作成の要あり。
特に賞金等のメリットはないが、「我々の考えていることが公的なところで認められた」という実績にはなる。
- ・事務所の契約更新について
2月中に契約更新予定。
- ・多摩デポ関係の記事、論文について
『読売新聞』1月19日多摩版 「たまに 必要な本地域で共有 図書館蔵書のネットワークづくりに取り組むNPO法人理事長 座間直壯さん」
『図書館雑誌』1月号 「平成26年度(第100回)全国図書館大会ハイライト 公募型分科会 第111分科会」 p.43～44
『みんなの図書館』3月号 p.6～12 「「多摩デポ」が考えてきたこと」堀渡
- ・TOKYO 7 DAYS—ふくしま被災地まち物語東京7 DAYSについて
全国図書館大会分科会で書記をして下さった方からの依頼で被災地に紙芝居を送る団体に情報提供などで協力したが、東京での催しのパンフに多摩デポの名刺広告(無料)が掲載された。
- ・新都立多摩図書館の工事の進捗状況について
新たな情報はないが、年度内に都立中央図書館を訪問したい。

★ 次回理事会 4月 日() 午後6時30分～ 会場

★ カーリルとの第6回打ち合わせ会

3月3日(火) 午後7時から 立川市柴崎学習館第2教室(地下)

★ 次回の事務局会議 3月9日(月) 午後6時30分から 立川駅南口 シビル

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、田中ヒロ理事と手嶋孝典理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2015年2月17日

議長

議事録署名人

議事録署名人